



2025年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6090 URL <https://humanmetabolome.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CFO (氏名) 大畑 恭宏
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長兼CFO (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180
定時株主総会開催予定日 2025年9月19日 配当支払開始予定日 2025年9月4日
有価証券報告書提出予定日 2025年9月22日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期の連結業績（2024年7月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年6月期	1,455	8.1	249	13.3	240	△0.2	256	5.4
2024年6月期	1,345	3.6	220	4.4	241	3.8	243	△14.9

（注）包括利益 2025年6月期 250百万円（0.7％） 2024年6月期 248百万円（△12.4％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年6月期	43.67	—	13.6	9.7	17.1
2024年6月期	41.14	—	13.5	9.9	16.4

（参考）持分法投資損益 2025年6月期 一百万円 2024年6月期 一百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年6月期	2,374	1,908	79.6	332.14
2024年6月期	2,603	1,946	72.7	320.00

（参考）自己資本 2025年6月期 1,890百万円 2024年6月期 1,892百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	373	△197	△369	1,594
2024年6月期	236	△32	△73	1,788

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00	89	36.5	4.7
2025年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00	85	34.3	4.5
2026年6月期（予想）	—	0.00	—	18.00	18.00		39.4	

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,600	10.0	300	20.2	300	24.5	260	1.4	45.68

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は添付資料10ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2025年6月期	5,919,797株	2024年6月期	5,915,733株
2025年6月期	227,644株	2024年6月期	144株
2025年6月期	5,872,338株	2024年6月期	5,912,994株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2025年8月21日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
生産、受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられて、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながらウクライナ情勢の長期化や中東地域での地政学的リスク、また資源高及び人手不足の継続によるインフレ圧力、米国の関税政策等の影響など内外経済が下振れするリスクがあることから、引き続き先行きの不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社グループが属するライフサイエンス業界では、健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発の増加傾向が継続しています。またバイオエコノミー推進政策によるバイオものづくり関連の研究開発も増加が見込まれています。

このような状況の中、当社グループでは先端研究開発支援事業においては高感度網羅解析サービスの受注拡大、ヘルスケア・ソリューション事業においては機能性素材開発支援サービスの受注拡大を図りました。また研究開発においては、中分子高感度網羅解析サービスの開発と上市、バイオものづくり支援サービス向けのハイスループット技術の開発、代謝シミュレーションの開発などに集中して取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、1,455,004千円（前年同期比8.1%増）と12期連続の増収となりました。売上増に伴う提携サービスの販売に伴う仕入原価の増加、設備増強にかかる減価償却費の増加、賃上げによる人件費の増加、韓国代理店の会社再生法適用に伴う貸倒引当金の計上などもありましたが、営業利益は249,521千円（前年同期比13.3%増）となりました。一方為替差損を9,368千円計上した結果、経常利益は240,996千円（前年同期比0.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、256,420千円（前年同期比5.4%増）となりました。

	2024年6月期	2025年6月期
売上高	1,345,671千円	1,455,004千円
営業利益	220,168千円	249,521千円
経常利益	241,441千円	240,996千円
親会社株主に帰属する当期純利益	243,248千円	256,420千円

セグメント別の状況は、次のとおりです。

<先端研究開発支援事業>

	2024年6月期	2025年6月期
売上高	1,186,852千円	1,143,006千円
（内国内売上高）	888,452千円	992,101千円
（内海外売上高）	298,399千円	150,905千円
セグメント利益	310,700千円	184,585千円

当事業セグメントにおいては、国内では高感度網羅解析サービスが堅調に推移しました。アカデミア分野及び食品分野の売上が大型案件の獲得により大きく増加し、国内全体で売上が大きく増加しました。一方、欧米では、不透明感のある事業環境下でヘルスケア研究開発が全般的に低迷した結果、大幅な売上減となりました。

また、バイオものづくり支援サービスの開発のために、9月に資本業務提携を行いましたフェルメクテス株式会社とのパイロットランを実施し、代謝シミュレーションやサービスメソッドの磨きこみを行いました。また解析所要時間を大幅に短縮し、スループットを格段に向上するための技術開発にも取り組みました。

この結果、売上高は、1,143,006千円（前年同期比3.7%減）となりました。バイオものづくり支援サービスの研究開発に集中投資を行ったこと、人件費の増加、貸倒引当金の計上などの結果、セグメント費用が増加したため、全社費用配賦後セグメント利益は184,585千円（前年同期比40.6%減）となりました。

＜ヘルスケア・ソリューション事業＞

	2024年6月期	2025年6月期
売上高	158,818千円	311,998千円
（内国内売上高）	158,818千円	311,998千円
（内海外売上高）	－千円	－千円
セグメント利益又は損失（△）	△90,532千円	64,935千円

当事業セグメントにおいては、機能性素材開発支援サービスの新規受注獲得に注力した結果、食品企業の売上増に加えて、製薬・化学企業などからの売上も大幅に増加し、本サービスの売上が大きく増加しました。また皮膚ガス測定サービスの売上も増加しました。

この結果、売上高は311,998千円（前年同期比96.4%増）、全社費用配賦後のセグメント利益は64,935千円（前年同期は90,532千円のセグメント損失）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（流動資産）

当連結会計年度末における流動資産は1,864,807千円となり、前連結会計年度末に比べ230,820千円減少しました。これは、自己株式取得や配当金の支払等により現金及び預金が226,088千円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

当連結会計年度末における固定資産は509,799千円となり、前連結会計年度末に比べ2,026千円増加しました。これはフェルメクテス株式会社への投資49,980千円による投資有価証券、設備投資として工具、器具及び備品が131,311千円増加しましたが、リース期間満了のリース資産が133,681千円減少、投資有価証券評価損7,000千円を計上したこと等によるものであります。

（流動負債）

当連結会計年度末における流動負債は449,943千円となり、前連結会計年度末に比べ182,814千円減少しました。これは短期借入金100,000千円、未払金が90,108千円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

当連結会計年度末における固定負債は16,066千円となり、前連結会計年度末に比べ7,863千円減少しました。これはリース債務が7,887千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は1,908,597千円となり、前連結会計年度末に比べ38,115千円減少しました。これは親会社株主に帰属する当期純利益256,420千円を計上しましたが、自己株式の取得166,418千円、配当金88,733千円の支払い、満期償還により新株予約権が35,757千円減少したこと等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ194,191千円減少し、1,594,314千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは373,531千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益269,753千円の計上、減価償却費103,812千円の計上及び売上債権50,103千円減少等によるものであります。尚、自己株式取得のための証券会社への預け金31,896千円は現金及び現金同等物に含まれております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは197,272千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出148,740千円や、投資有価証券の取得による支出49,980千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは369,451千円の支出となりました。これは短期借入金100,000千円の減少に加え、自己株式の取得による支出166,418千円、配当金の支払いによる支出88,386千円及びリース債務の返済による支出14,645千円によるものであります。

（4）今後の見通し

国内外ともに不確実性の解消が見込みにくい状況であり、経済の先行きの不透明感はぬぐい切れない環境が続くことが予想されていますが、メタボローム解析サービス市場自体は、少なくとも国内においては中長期的にも堅実な成長が見込まれると考えております。地政学リスクや貿易に関するリスクは、安全保障の観点からも資源自律経済を推進し、「バイオものづくり」における研究開発の促進要因となると考えられます。

当社グループは、今後の成長加速のためには、リソースをより機動的かつ有機的に活用していくことが必要と考え、2026年6月期より事業セグメントを統合し、1つの事業セグメントといたします。限られたリソースを集中的に戦略領域に投下することで効率的な研究開発投資を行いつつ、新規事業を確実に立上げ、高付加価値事業を拡大していくことで企業価値の向上につなげてまいります。

これまでの先端研究開発支援事業で展開してまいりましたサービスは、「ライフサイエンス研究支援サービス（略称 LSS: Life Science Analysis Support Service）」として、ヘルスケア・ソリューション事業で展開してまいりましたサービスは、「機能性素材開発支援サービス（略称 FDS: Functional material Development Support Services）」として引き続きの強化を図りつつ、新規サービスである「バイオものづくり支援サービス（略称 BMS: Bio-Manufacturing Support Services）」を加えて3本柱でのサービス展開を行ってまいります。

2026年6月期の売上高につきましては、既存事業であるライフサイエンス研究支援サービスと機能性素材開発支援サービスの安定した成長を維持しながら、バイオものづくり支援サービスを開始し、当該分野での売上増加を中心とした成長を目指してまいります。2023年8月に開示いたしました中期経営計画の目標である営業利益3億円の達成を目指してまいります。

なお、為替レートは、1米ドル135円を見込んでおります。

	2025年6月期（実績）	2026年6月期（業績予想）
売上高	1,455百万円	1,600百万円
営業利益	249百万円	300百万円
経常利益	240百万円	300百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	256百万円	260百万円
米ドル平均レート	149.76円	135.00円

（注）当社グループの事業は、アカデミア・企業とも顧客の年度末に納期が集中することから、売上高が当社第3四半期（1月～3月）に偏重する事業特性を有しております。従って、業績管理は年次で行っており、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績予想については投資家へ提供する情報としての適切性・有用性に問題が生じるおそれがあるため、業績予想は通期のみ記載しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、将来のIFRS適用に備え、社内外の動向や当社グループへの影響等について調査を行い、その適用時期等についての検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,788,506	1,562,417
売掛金	232,721	175,281
商品	11,116	18,144
仕掛品	18,522	22,107
原材料及び貯蔵品	7,352	10,901
その他	41,965	80,052
貸倒引当金	△4,558	△4,098
流動資産合計	2,095,627	1,864,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,719	71,597
工具、器具及び備品	603,229	734,540
リース資産	191,342	57,660
建設仮勘定	95,278	1,292
減価償却累計額	△626,692	△580,138
有形固定資産合計	331,878	284,952
無形固定資産	17,476	12,810
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	49,980
繰延税金資産	146,234	157,021
破産更生債権等	—	9,746
その他	5,183	5,034
貸倒引当金	—	△9,746
投資その他の資産合計	158,417	212,036
固定資産合計	507,773	509,799
資産合計	2,603,401	2,374,607
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,038	3,860
短期借入金	200,000	100,000
リース債務	14,959	7,011
未払金	187,910	97,802
未払法人税等	26,233	16,405
賞与引当金	86,351	89,257
その他	102,264	135,605
流動負債合計	632,757	449,943
固定負債		
リース債務	11,344	3,457
資産除去債務	12,585	12,609
固定負債合計	23,930	16,066
負債合計	656,688	466,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,719	1,488,979
資本剰余金	6,118	7,378
利益剰余金	417,317	585,003
自己株式	△167	△166,586
株主資本合計	1,910,988	1,914,775
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△18,026	△24,171
その他の包括利益累計額合計	△18,026	△24,171
新株予約権	53,750	17,993
純資産合計	1,946,713	1,908,597
負債純資産合計	2,603,401	2,374,607

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,345,671	1,455,004
売上原価	476,339	533,290
売上総利益	869,331	921,713
販売費及び一般管理費	649,163	672,192
営業利益	220,168	249,521
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	880
補助金収入	17,302	3,580
為替差益	5,766	—
その他	288	417
営業外収益合計	23,372	4,877
営業外費用		
支払利息	2,095	2,493
自己株式取得費用	—	1,531
為替差損	—	9,368
その他	4	9
営業外費用合計	2,099	13,402
経常利益	241,441	240,996
特別利益		
新株予約権戻入益	21,086	35,757
特別利益合計	21,086	35,757
特別損失		
減損損失	624	—
投資有価証券評価損	—	7,000
特別損失合計	624	7,000
税金等調整前当期純利益	261,903	269,753
法人税、住民税及び事業税	28,865	24,120
法人税等調整額	△10,210	△10,787
法人税等合計	18,654	13,333
当期純利益	243,248	256,420
親会社株主に帰属する当期純利益	243,248	256,420

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）	当連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）
当期純利益	243,248	256,420
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,173	△6,145
その他の包括利益合計	5,173	△6,145
包括利益	248,422	250,274
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	248,422	250,274
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,484,660	3,059	233,138	△167	1,720,691	△23,199	△23,199	74,837	1,772,328
当期変動額									
新株の発行	3,059	3,059			6,118				6,118
剰余金の配当			△59,070		△59,070				△59,070
親会社株主に帰属する当期純利益			243,248		243,248				243,248
自己株式の取得									—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						5,173	5,173	△21,086	△15,912
当期変動額合計	3,059	3,059	184,178	—	190,297	5,173	5,173	△21,086	174,384
当期末残高	1,487,719	6,118	417,317	△167	1,910,988	△18,026	△18,026	53,750	1,946,713

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,487,719	6,118	417,317	△167	1,910,988	△18,026	△18,026	53,750	1,946,713
当期変動額									
新株の発行	1,259	1,259			2,519				2,519
剰余金の配当			△88,733		△88,733				△88,733
親会社株主に帰属する当期純利益			256,420		256,420				256,420
自己株式の取得				△166,418	△166,418				△166,418
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			—		—	△6,145	△6,145	△35,757	△41,902
当期変動額合計	1,259	1,259	167,686	△166,418	3,786	△6,145	△6,145	△35,757	△38,115
当期末残高	1,488,979	7,378	585,003	△166,586	1,914,775	△24,171	△24,171	17,993	1,908,597

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	261,903	269,753
減価償却費	86,315	103,812
減損損失	624	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,909	2,906
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,224	9,746
受取利息及び受取配当金	△14	△880
支払利息	2,095	2,493
補助金収入	△17,302	△3,580
新株予約権戻入益	△21,086	△35,757
売上債権の増減額 (△は増加)	△96,096	50,103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,774	△14,161
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,038	△11,177
前払費用の増減額 (△は増加)	9,356	△8,795
未払金の増減額 (△は減少)	1,135	4,444
未払費用の増減額 (△は減少)	2,049	△14,213
前受金の増減額 (△は減少)	7,341	17,051
未払又は未収消費税等の増減額	△17,998	41,301
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	△9,746
その他	6,981	△5,626
小計	236,702	404,673
利息及び配当金の受取額	14	880
利息の支払額	△2,095	△2,493
補助金の受取額	17,302	3,580
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15,129	△33,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,795	373,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,479	△148,740
無形固定資産の取得による支出	△1,620	—
投資有価証券の取得による支出	—	△49,980
その他の収入	1,658	1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,441	△197,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△100,000
リース債務の返済による支出	△14,456	△14,645
配当金の支払額	△58,696	△88,386
自己株式の取得による支出	—	△166,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,153	△369,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	516	△999
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,717	△194,191
現金及び現金同等物の期首残高	1,656,789	1,788,506
現金及び現金同等物の期末残高	1,788,506	1,594,314

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による当連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、CE－MS法によるメタボローム解析技術を基盤に事業を展開しており、そのサービス、製品、収益モデル等を勘案し、報告セグメントを「先端研究開発支援事業」、「ヘルスケア・ソリューション事業」としております。

「先端研究開発支援事業」では、主に顧客から受領した測定試料をメタボローム解析し、結果を報告する受託解析サービスの提供を、「ヘルスケア・ソリューション事業」では、ヘルスケア企業研究者に機能性素材開発包括支援サービスの提供などを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	先端研究開発 支援事業	ヘルスケア・ ソリューション事業	計
売上高			
日本	888,452	158,818	1,047,270
アジアパシフィック	43,058	—	43,058
欧米	255,341	—	255,341
顧客との契約から生じる収益	1,186,852	158,818	1,345,671
外部顧客への売上高	1,186,852	158,818	1,345,671
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,186,852	158,818	1,345,671
セグメント利益又は損失（△）	310,700	△90,532	220,168
セグメント資産	688,910	6,003	694,913
その他の項目			
減価償却費	85,418	897	86,315
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	139,370	—	139,370

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	先端研究開発 支援事業	ヘルスケア・ ソリューション事業	計
売上高			
日本	992,101	311,998	1,304,099
アジアパシフィック	31,670	—	31,670
欧米	119,234	—	119,234
顧客との契約から生じる収益	1,143,006	311,998	1,455,004
外部顧客への売上高	1,143,006	311,998	1,455,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,143,006	311,998	1,455,004
セグメント利益	184,585	64,935	249,521
セグメント資産	517,682	41,744	559,426
その他の項目			
減価償却費	103,335	477	103,812
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	144,341	—	144,341

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	694,913	559,426
全社資産（注）	1,908,487	1,815,180
連結財務諸表の資産合計	2,603,401	2,374,607

（注）全社資産は、主に各報告セグメントに配分していない現金及び預金、有価証券等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	139,370	144,341	6,852	5,558	146,222	149,900

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない共用資産に係るものであります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	先端研究開発支援事業	ヘルスケア・ソリューション事業	計
減損損失	—	624	624

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	320.00円	332.14円
1株当たり当期純利益	41.14円	43.67円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	243,248	256,420
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	243,248	256,420
普通株式の期中平均株式数（株）	5,912,994	5,872,338
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 （千円）	－	－
普通株式増加数（株）	－	－
（うち新株予約権行使による増加数（株））	－	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	第11回新株予約権（新株予約 権290個）、第12回新株予約 権（新株予約権170個）、第13 回新株予約権（新株予約権 265個）	第13回新株予約権（新株予約 権265個）

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,667	88.3
合計	1,667	88.3

(注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。

2. その他先端研究開発支援事業及びヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	24,180	99.1
合計	24,180	99.1

(注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。

2. その他先端研究開発支援事業及びヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,156,200	92.1	508,540	96.4
ヘルスケア・ ソリューション事業	294,583	124.7	65,322	79.0
合計	1,450,783	97.3	573,862	94.0

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,143,006	96.3
ヘルスケア・ ソリューション事業	311,998	196.4
合計	1,455,004	108.1